



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東大

上場会社名 稲畑産業株式会社

コード番号 8098 URL <http://www.inabata.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲畑勝太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 横田健一

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 03-3639-6421

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	232,003	0.2	3,642	△21.3	4,172	△14.3	2,698	△31.7
23年3月期第2四半期	231,646	22.2	4,626	321.3	4,871	372.9	3,948	822.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,625百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △242百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	41.59	—
23年3月期第2四半期	60.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	239,031	73,331	30.4
23年3月期	238,272	72,040	29.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 72,632百万円 23年3月期 71,340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	19.00	26.00
24年3月期	—	9.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	460,000	△1.9	7,200	△8.9	8,000	△5.7	5,000	△30.9	77.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	65,159,227 株	23年3月期	65,159,227 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	290,633 株	23年3月期	290,633 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	64,868,594 株	23年3月期2Q	65,029,271 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災により被害を受けたサプライチェーンや社会インフラなどの復旧が進み、供給面の制約がほぼ解消する中、着実に持ち直してきました。その一方で、大幅な円高や米国経済の減速、欧州の財政問題の長期化、また中国経済の成長鈍化や新興国のインフレ懸念など、海外景気の不透明感が生じてきました。

こうした中、当社の事業においては、連結ベースでの売上高は232,003百万円（対前年同期比0.2%増）となりましたが、販売費及び一般管理費の増加などにより、利益面では、営業利益は3,642百万円（同21.3%減）、経常利益は4,172百万円（同14.3%減）となりました。四半期純利益は2,698百万円（同31.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(情報電子事業)

情報電子事業は、液晶関連については、世界的な液晶テレビ市場の需要の落ち込みを受け、偏光板・拡散板などの関連部材および偏光板原料が減少しました。

複写機・プリンター関連では、複写機関連については、シェアアップや顧客の海外拠点向けビジネスの増加などで微増でした。インクジェット関連は、震災による生産減や円高の影響も受け低調でした。太陽電池関連は、市場の停滞により横ばいでした。

半導体関連では、関連部材については、震災の影響により在庫積み増し需要があり前半は好調でしたが、後半は減速傾向となり、概ね微増となりました。装置関連では、中国向けのLED関連装置の新規受注やスマートフォン部品関連装置などが好調でした。

これらの結果、売上高は93,337百万円（同4.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は1,219百万円（同32.7%減）となりました。

(住環境事業)

住環境事業は、前半は、震災被害により取引先の建材メーカーや住宅設備機器メーカーの生産が落ち込み、その影響を受けましたが、後半は大きく回復し、概ね順調に推移しました。

住宅建材関連は、大手ハウスメーカーに対する販売が好調で、木材の輸出入は堅調でした。また、震災の影響で供給不足となった構造用合板の代替として、パーティクルボード関連のビジネスが非常に好調に推移しました。

環境資材関連は、非住宅分野向けの合成樹脂や化学品関係の新規販売が順調に推移し、また、後半には住宅設備機器メーカーに対する原材料販売と製品仕入が回復するなど、概ね順調でした。

これらの結果、売上高は10,516百万円（同7.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は41百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

(化学品事業)

化学品事業は、機能化学品関連は横ばいでしたが、ライフサイエンス関連が伸張し、概ね順調でした。

機能化学品関連では、スペシャルティケミカルの樹脂原料ビジネスが好調でした。自動車部品原料は後半に回復しましたが、販売価格の下落により微減となりました。樹脂モノマー・添加剤ビジネスは低調でした。コーティングケミカルは、自動車用塗料原料やインキ原料が減少しましたが、関連会社で生産するニトロセルロースの販売は堅調でした。接着剤原料ビジネスは、新規顧客の獲得により大幅増となりました。製紙薬剤・澱粉ビジネスは、取引先の震災被害による工場の稼働停止もあり低調でした。

ライフサイエンス関連は、ファインケミカル関連では、医農薬ビジネスが大幅増となりました。また前年度からスタートした太陽電池関連ビジネスは横ばいでした。生活環境関連では、蚊取り線香用原料、吊下げ型忌避剤原料が好調でした。

これらの結果、売上高は32,102百万円（同1.4%減）となり、セグメント利益（営業利益）は665百万円（同22.4%減）となりました。

(合成樹脂事業)

合成樹脂事業は、前年同期に対して若干の増加となりました。

高機能樹脂は、震災による自動車メーカーの生産減の影響で、同分野向けの材料販売が落ち込みましたが、後半には国内販売、輸出ともに回復傾向となり、微減でした。汎用樹脂は、ゴム関連ビジネスの回復や新規ユーザーの獲得、輸入品の販売増などにより順調でした。これらの結果、材料販売の売り上げは、全体として横ばいとなりました。

フィルム、シート関連は、震災による特需から食品包装用途が伸長しました。インフレーションフィルム用ポリエチレン樹脂の販売は、前半は値上げによる仮需で好調でしたが、後半は先安感から荷動きが悪くなり、横ばいとなりました。スポーツ資材関連は、販売店の在庫調整によりテニスラケット向けのグリップテープが低調でした。

国内の関係会社は、各社堅調に推移しましたが、原材料価格上昇分の製品価格への転嫁は進みませんでした。海外では、シンガポール、インドネシア、ベトナムでの販売が特に好調でした。

これらの結果、売上高は87,213百万円（同4.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1,425百万円（同21.3%減）となりました。

（食品事業）

食品事業は、水産・農産ともに総じて順調に推移しました。

水産物では、主力のすしネタにおいて、大手回転すしチェーン向けにすしエビが伸張しましたが、品質問題への対応のため収益面では苦戦しました。ウニについては、品質が安定したため大きく伸張しました。

農産物では、主力のブルーベリーは産地の天候不順による不作のため品不足となりましたが、調達先を増やして対応したため堅調でした。

国産冷凍野菜は、新しい納入先が増加し好調でした。

北米及び国内の水産関連の関係会社の業績は総じて好調に推移しました。

これらの結果、売上高は8,553百万円（同14.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は158百万円（同535.5%増）となりました。

（その他）

売上高は279百万円（同32.3%減）となり、セグメント利益（営業利益）は132百万円（同5.4%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産に係る定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて759百万円増加（同0.3%増）し、239,031百万円となりました。

流動資産の増加1,449百万円は、主に現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金、商品及び製品並びにその他が増加したこと等によるものであります。

固定資産の減少690百万円は、主に有形固定資産及び無形固定資産の減少等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて531百万円減少（同0.3%減）し、165,700百万円となりました。

流動負債の増加371百万円は、主に支払手形及び買掛金、未払法人税等並びにその他が減少したものの、短期借入金が増加したこと等によるものであります。

固定負債の減少902百万円は、主にその他が増加したものの、長期借入金が減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて1,290百万円増加（同1.8%増）し、73,331百万円となりました。これは、主にその他の包括利益累計額合計が減少したものの、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は30.4%（前連結会計年度末より0.5%増加）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、売上債権の増加額、たな卸資産の増加額及び仕入債務の減少額が、短期借入金の純増加額を上回ったこと等により前連結会計年度末に比して6,990百万円減少の8,786百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は10,371百万円（前年同期は2,810百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の増加額、たな卸資産の増加額、仕入債務の減少額及び法人税等の支払額が税金等調整前四半期純利益を上回ったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,203百万円(前年同期は1,332百万円の獲得)となりました。これは主に、有形固定資産、無形固定資産及び投資有価証券の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は4,530百万円(前年同期は1,241百万円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額が配当金の支払額を上回ったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、欧州の財政問題の長期化による世界的な景気減速や円高の長期化、さらにはタイ国の洪水による影響など、一層厳しさが増すものと予想されることから、平成23年5月11日公表の通期連結業績予想の売上高を300億円減の4,600億円(増減率△6.1%)、営業利益を8億円減の72億円(増減率△10.0%)に修正しております。また、持分法による投資損益が改善されたこと等により、経常利益は変更しておりません。なお、当期純利益は、税金費用の減少等により2億円増の50億円(増減率+4.2%)に修正しております。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,559	9,631
受取手形及び売掛金	126,041	129,121
商品及び製品	26,552	29,639
仕掛品	555	698
原材料及び貯蔵品	2,470	3,208
その他	6,077	7,576
貸倒引当金	△466	△634
流動資産合計	177,791	179,241
固定資産		
有形固定資産	9,946	9,772
無形固定資産		
のれん	116	255
その他	6,443	5,891
無形固定資産合計	6,559	6,146
投資その他の資産		
投資有価証券	38,529	38,627
その他	8,738	6,809
貸倒引当金	△3,292	△1,565
投資その他の資産合計	43,975	43,871
固定資産合計	60,481	59,790
資産合計	238,272	239,031
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,040	81,223
短期借入金	45,344	52,370
未払法人税等	1,689	948
賞与引当金	777	813
その他	7,343	6,210
流動負債合計	141,195	141,567
固定負債		
長期借入金	15,184	13,844
退職給付引当金	430	420
役員退職慰労引当金	26	15
事業整理損失引当金	72	64
債務保証損失引当金	18	18
負ののれん	55	27
その他	9,247	9,743
固定負債合計	25,036	24,133
負債合計	166,231	165,700

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,364	9,364
資本剰余金	7,708	7,708
利益剰余金	46,420	47,886
自己株式	△140	△140
株主資本合計	63,353	64,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,174	13,151
繰延ヘッジ損益	37	△60
為替換算調整勘定	△5,224	△5,277
その他の包括利益累計額合計	7,986	7,813
少数株主持分	700	698
純資産合計	72,040	73,331
負債純資産合計	238,272	239,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	231,646	232,003
売上原価	215,363	216,172
売上総利益	16,282	15,830
販売費及び一般管理費	11,655	12,187
営業利益	4,626	3,642
営業外収益		
受取利息	156	130
受取配当金	431	472
為替差益	174	166
雑収入	480	417
営業外収益合計	1,243	1,187
営業外費用		
支払利息	435	463
持分法による投資損失	382	98
雑損失	180	95
営業外費用合計	998	657
経常利益	4,871	4,172
特別利益		
投資有価証券売却益	—	169
関係会社株式売却益	3,192	—
貸倒引当金戻入額	130	—
特別利益合計	3,322	169
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	141
投資有価証券評価損	242	101
固定資産除却損	1,568	—
特別損失合計	1,811	242
税金等調整前四半期純利益	6,382	4,099
法人税、住民税及び事業税	2,944	958
法人税等調整額	△628	333
法人税等合計	2,315	1,291
少数株主損益調整前四半期純利益	4,066	2,807
少数株主利益	118	109
四半期純利益	3,948	2,698

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,066	2,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,589	1
繰延ヘッジ損益	△78	△98
為替換算調整勘定	△642	△36
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△49
その他の包括利益合計	△4,309	△182
四半期包括利益	△242	2,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△368	2,524
少数株主に係る四半期包括利益	126	100

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,382	4,099
減価償却費	1,044	1,430
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△584	△1,553
受取利息及び受取配当金	△587	△603
支払利息	435	463
持分法による投資損益 (△は益)	382	98
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△72	△10
固定資産除却損	1,568	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△169
関係会社株式売却損益 (△は益)	△3,192	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	242	101
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,597	△3,179
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,189	△4,097
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,597	△1,229
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	343	1,723
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,457	△4,817
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	2,030	△1,191
その他	373	59
小計	3,439	△8,878
利息及び配当金の受取額	593	610
利息の支払額	△440	△464
法人税等の支払額	△781	△1,638
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,810	△10,371
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△165	△776
定期預金の払戻による収入	442	726
有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△555	△549
有形固定資産の売却による収入	49	30
無形固定資産の取得による支出	△1,324	△331
投資有価証券の取得による支出	△451	△359
投資有価証券の売却による収入	122	237
子会社株式の売却による収入	3	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△56
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	3,190	—
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△203	△320
長期貸付けによる支出	△12	—
長期貸付金の回収による収入	201	165
その他	36	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,332	△1,203

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△807	5,976
長期借入れによる収入	15	—
長期借入金の返済による支出	△38	△83
配当金の支払額	△325	△1,236
少数株主への配当金の支払額	△62	△92
その他	△22	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,241	4,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	△166	53
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,735	△6,990
現金及び現金同等物の期首残高	5,014	15,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,749	8,786

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	住環境	化学品	合成樹脂	食品	計				
売上高										
(1) 外部顧客への 売上高	97,855	9,788	32,555	83,558	7,475	231,233	413	231,646	-	231,646
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	-	-	357	-	-	357	-	357	△357	-
計	97,855	9,788	32,912	83,558	7,475	231,590	413	232,003	△357	231,646
セグメント利益又は 損失(△)	1,811	△6	858	1,812	24	4,501	125	4,626	-	4,626

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース業及び不動産賃貸業等
であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	住環境	化学品	合成樹脂	食品	計				
売上高										
(1) 外部顧客への 売上高	93,337	10,516	32,102	87,213	8,553	231,723	279	232,003	-	232,003
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	-	-	283	-	-	283	-	283	△283	-
計	93,337	10,516	32,386	87,213	8,553	232,007	279	232,287	△283	232,003
セグメント利益	1,219	41	665	1,425	158	3,510	132	3,642	-	3,642

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース業及び不動産賃貸業等
であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。